



# 子育てチャンネル

## 本の世界と関わって

私は東川小学校の図書室に勤務しています。小学校では、子どもたちが毎日図書室に足を運んでくれます。東川は読み聞かせや移動朗読会など、小さなころから絵本や本に触れる機会が多いですね。そのせいでしょうか、多くの子どもたちが休み時間に図書室に来て、本を読んだり借りたりしてくれています。

低学年は教室から図書室までかなり離れているのですが、そんな離れた場所でも、本を抱えて一生懸命歩いて図書室に通ってくれる姿をよく見ます。うれしいことです。

本を読まない子が多いと聞きますが、東川は本が大好きな子どもがいっぱいだと思います。いいことですね。

私自身、小学生のころよく図書室に通っていました。日当たりの良い窓から校庭の大きなクスノキを見るの

が好きだったことを覚えています。そして貸し出しカードを埋めるために、いっぱい本を借りて読みました。

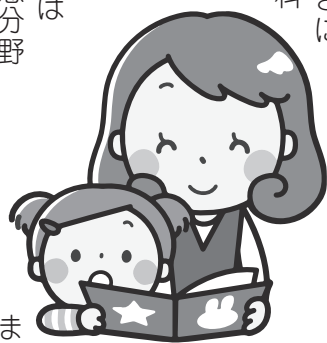
主に伝記の本が好きで、カードは偉人の名前です。ばいでした。偏っていました。でも、おかげで、歴史が大好きになりました。

なり、社会科が得意科目になりました。

た。好きなことは、知識として身につけているはず。得意分野を持つことは、自信にもつながっていくと思います。

私は小学校での読み聞かせ活動にも参加しています。朝の15分間をいただいて、月2回、1年生から6年生まで各クラスに入って絵本の読み聞かせをしています。

読み手は現在10名。お母さんたちだけでなく、地域の



方もいます。どの子も真剣に本を見詰め、お話に耳を傾けて集中して聞いてくれます。うれしいことです。

ですから絵本選びや見せ方、読み方など、子どもたちの反応を想像し、毎回楽しく準備をしています。一緒に活動してみませんか。読み聞かせの活動に興味のある方大歓迎です。

本に関わる活動に携わることができ、私自身は

より一層本が好きになりました。

たし、子どもの時に読まなかった子ども本など、手に取り読むようになりました。

増えてきました。ところが私が本を読んでいると、息子は本を読んできてくれません。「本を読むことの大切さ」をいろいろなところで聞き、取り入れようと努力しているのですが、なかなかうまくいきません。

そんなある時、「漫画を読めるといふことは本を読む

力があるということ」という雑誌の記事を見つけました。読書しない息子に本を読むことを押し付けるより、親としては次のステップへつながるように子どもの興味を広げるきっかけをつくってあげることが大事なのだと思いました。

今、世の中はパソコンや携帯電話の普及で、インターネットでゲームができ、簡単におもしろいことにならざるようになりました。

それでも本が与えてくれる言葉の力、表現の力は圧倒的です。一緒に本を読むことで、ワクワク、ドキドキ、そして想像の世界を子どもと一緒に共有していただけるいいな、と思っています。

いつもは本を読まない息子なのですが、「あれっ、静かだな」とふと家の中を見渡すと、たまに真剣な表情で本を読んでいる姿に気づくことがあります。これが私の一番好きな本の光景です。

下 関 あや子